

登録コード	TSX31500	開講年度	2026				
授業科目	都市空間デザイン学演習				担当教員	佐倉 弘祐	
英文授業名	Seminar in Design Studies of Urban Space				副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				フィールドサーヴェイ調査、文献調査、ヒアリング調査等から得られたデータを分析し、研究フィールド内に住む地域住民とのワークショップを介して今後の都市空間のあり方をイメージとして共有することで、工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を修得できるようになる。		
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				フィールドサーヴェイ、文献調査、ヒアリング調査等から得られたデータを分析し、研究フィールド内に住む地域住民とのワークショップを介して今後の都市空間のあり方をイメージとして共有することで、環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力を修得できるようになる。		
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				フィールドサーヴェイ、文献調査、ヒアリング調査等から得られたデータを分析し、研究フィールド内に住む地域住民とのワークショップを介して今後の都市空間のあり方をイメージとして共有することで、さまざまな課題に対処できる高い情報収集能力を修得できるようになる。		
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				フィールドサーヴェイ、文献調査、ヒアリング調査等から得られたデータを分析し、研究フィールド内に住む地域住民とのワークショップを介して今後の都市空間のあり方をイメージとして共有することで、専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力を修得できるようになる。		
(2)授業の概要	各研究フィールドに応じたテーマについての知見を集約し、そこで見出された課題に対処することが求められる。このためには、まず各研究フィールドの基礎的情報を把握し、フィールドサーヴェイ、文献調査、ヒアリング調査などから得られたデータを分析して、定期的に研究レポートを作成・発表する。後半においては、各研究フィールドにおいて、地域住民と協力してワークショップを企画・実施し、その対象地域に適した都市空間の将来像を共有することを目指す。						
(3)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 3回 研究フィールドの選定と基本的情報の収集 第4回 15回 研究フィールドでのフィールドサーヴェイ、文献収集、ヒアリング調査 第16回 20回 研究フィールドでの調査結果を整理・発表 第21回 第25回 研究フィールドでの地域住民参加型ワークショップの企画 第26回 27回 研究フィールドでのワークショップの実施 第28回 30回 ワークショップで得られた成果を整理・発表						
(4)成績評価の方法	毎週の課題への取り組み方、研究フィールドでの調査結果の発表、ワークショップで得られた成果の発表の内容により総合的に評価します。基本的に90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。						
(5)成績評価の基準	発表内容だけでなく、研究フィールドでの調査とワークショップのプロセスを含めて、基本的な手続きをクリアできている度合いに応じて評価する。						
(6)事前事後学習の内容	1回の授業あたり、4.5時間の自主学習を課す。その内訳は演習の進捗に応じて異なるが、研究フィールドでの調査とワークショップの週ごとの進捗状況を整理すること。						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	授業の最後に質問の時間を設ける。 またメールでも受付ける。 e-mail:kosuke_sakura@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						